

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 028	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 春どりダイコン、春どりブロッコリー、春どりリーフレタスの有望品種の選定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 直売における作型拡大などにより、春どり野菜の作型が増えてきており、種苗会社における品種も増えてきている。一方、野菜優良種導入指針に掲載されている春どりダイコン、春どりブロッコリー、春どりリーフレタスでは、最近の品種が取り入れられていない。また、近年、気象変動が大きく、年度によって優良と思われる品種は変動している。そこで、春どりのダイコン、ブロッコリー、リーフレタスの品種比較をし、有望品種の選定をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 気象変動に安定した収量・品質（形状の安定性、収量性）	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわらしい地産地消を推進するための技術開発 1 新たなかながわ特産品の開発 (2)新たな作物・品種の探索による特産品の開発 ア 野菜の作目・品種特性検定、系統適応性検定試験			
対応の内容 直売品目の充実の点から、生産現場において幅広い作型への対応は重要と考えられます。また各種苗メーカーから新品種が販売されておりますので、野菜優良種導入指針掲載品種の定期的な更新は必要であると考えられます。当課では地域の特徴を活かした農業経営を確立するための新品目・品種の選定に取り組んでおりますので、ご要望いただいた品目について、年次変動を考慮し複数年かけて有望品種の選定を実施します。品種選定にあたりましては、有望品種の現地実証試験などご協力いただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			